

というんですね。本当にゴビ砂ばくを旅行して帰って来ると、目がよくなるんですね。問は最初、成田に帰ってきて新聞を読んだ時に、ぼけて見えるんですね。視力がよくなつて前と同じように見えないんです。本当に良くなるんです。ところが、それがくせもので、素晴らしいと思って自由行動してもらっていた。ところが夜の9時に点呼をとるとどうも1人いないんです。ひと晩さがしたけれども一つからない。本人は、実は8ミリを撮っていましたんですね。動物をいろいろとおいかけて8ミリを撮っているうちにどこまで行っても平らだと思っていたところ、ふりかえって見るとテントが見えなくなつてしまつたんです。そこで、村の人から、観光客から、みんな出て、ジープからトラックからみんなつかつて一晩さがしたけれども出てこない。朝になつたら、その人から帰つて下さいと言われた。昔から砂ばくでまよつて朝になつて帰つてこなくて助かつたためしがないと言つうんですね。帰つてくるなら、なにかにみつけられて、らくだに乗つて帰つて来るといふんです。というのは、夜になると砂ばくの掃除人がいるわけですよ。それにみんな食われて死んでしまうというわけです。ところが軍隊のヘリコプターがその男を発見してくれたんです。38キロも先でふらふらしているところを見つかりて帰つきました。夜、火の玉が出たり、いろんな動物が出て來たそうです。でもいろんなのに守られながら夜を明かしたそうです。この男が助かつた時、私はモンゴルに運みたいなものを感じましたね。そして、いのちを救つてもらったんだから、モンゴルによろこばれることをやってみようかなあと思つされました。それで物産展などもやってみようという気になつたんです。

私は三つの点でモンゴルの素晴しさを痛感しているんですが、

①人情。日本人と同じふんいきですね。呼吸があうんですね。

②自然。モンゴルの自然の素晴しさですね。

③条件。かくされた資源大国の可能性が充分あるということです。

今のところ中国とソ連の二つの大国があり、行くのに大変ですが、そのうち直行便も出るようになると思います。去年は名古屋からチャーター便が5便出ました。今年は10便くらい出ると思いますが、新潟からは私どもが1便出す予定です。是非、機会がありましたら、モンゴルに行っていただきたいと思います。のびのびといのちの洗たくをこのゴビ砂ばくを見てしていただきたいと思います。

皆さんの素晴らしいご活躍に心から敬意を表しましておわらせさせていただきます。ありがとうございました。

1月21日例会： メンバーを理解しよう 新入会員卓話 佐藤文夫君

1月29日例会： 新年宴会 7:00 さどや



# 三条北ロータリークラブ週報

## 自分を超えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日  
1992. 1 . 14  
累計 No 253  
当年 No 28

会長／山上 茂夫

幹事／堀川 正幸

SAA／味方 義一

例会日／火曜日 PM12:30~1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34  
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 卓話「モンゴルの自然と最近事情」

新潟国際文化交流センター／新潟・モンゴル親善協会 理事長 木村 育殿

出 席： 本日の出席 53名中37名

先週の出席率 53名中49名 92.45%

先週のメークアップ： 1月8日 三条RCへ 高橋彰雄君 佐藤啓策君 本間建雄美君

9日 新潟西RCへ 山上茂夫君 佐藤文夫君

13日 三条南RCへ 山本 充君 加藤 実君 菅田義重君

村山誠一君

ビジター： 三条RCより 五十嵐昭一君

三条南RCより 馬場信彦君 吉田秀治君 三原徹夫君 小林博久君

坪井正康君 弥久保藤雄君 若林幸哉君

会長挨拶： 山上茂夫

お食事がお済みでない方はごゆっくりお召し上り下さい。またお済みの方も片方のお耳だけで結構ですし、目は閉じたままで結構ですからリラックスして戴きたいと思います。

今日は三条南クラブから、馬場さん、吉田さん、弥久保さん、小林さん、坪井さん、三原さん、若林さん、三条クラブから五十嵐さんお越し頂き有難うございます。

今日はゲストとして新潟国際文化交流センター・新潟・モンゴル親善協会理事長木村毅先生をお招きしております。また（株式会社）新潟ヴィスナーの代表取締役でもあります。お話を「モンゴルの自然と最近事情」と言う興味深いお話をして戴くことになっておりますので、ゲストの皆さんも最後までごゆっくりしていただきたいと思います。

さて、今日も先回に続いて雪のない例会となりました。この前は（百人一首）のお話をしたのですが、百人一首はよく知らない、もっと詳しく（歌の）内容を話してくれればよかったのに、と言う会員もありましたので事務所で若い職員にきいたところ、矢張り全然判らないとの事でした。

私達が小さい頃は、お正月の遊びの中でカルタを取ると言う遊びがありました。其の中で自然に歴史を覚え、昔の習慣や生活文化を理解し、先人の心などを学ぶことが出来ました。今は子供が少なく一人でTVゲームや、パソコンなどで遊ぶのでしょうか？ 一人で読んで一人でカルタをとることもできないので、上達もしないし、ましてその様な学びが出来ないのだと思います。これは生活習慣がガラッと変わったことにあります。

今日私の手許にも〔ロータリーの友〕が配付されました。皆さん右表紙からお読みでしょうか、左表紙からでしょうか……。私は左表紙からですが、右表紙の2Pには〔日本経済の抱える諸問題〕として出ていますが、これは実務的なことが書かれている様です。その中で神武景気以来日本人の生活変化が見られると書かれていました。

また左側からすると4Pに、サブー会長のロータリーとは与えることだと言う事が、昔話をあげて書かれている様です。まだよく読んでいませんので、後でゆっくり読んでみたいと思います。いづれにしても生活習慣がコロッと変わったと言うことで百人一首の件にしても、私達が思い浮かべる様な情景が若い人にはイメージ出来ないのかも知れません。

私達が次の世代に物事を託すと言う事は、心を託すことですし、先人の知識を伝えることが文化の伝達であろうと思います。そこで今日はゲストスピーカーの先生から、大変興味深いお話を聞けると思いますので、ゲストの皆さんもどうか最後までごゆっくりお付き合いをして下さる様お願いをして御挨拶と致します。どうも有難うございました。

幹事報告： 堀川幹事

◇新潟西RCより地区協議会予備登録のご案内

日 時 6月6日（土）・7日（日）

会 場 オークラホテル新潟

義務出席 第1日目

会長、幹事、ロータリー財団委員長

第2日目

会長、幹事、クラブ奉仕、会員増強、職業奉仕、社会奉仕、青少年及びライラ

環境保全、国際奉仕、ロータリー財団、米山奨学の次年度委員長

◇例会変更

三条RC 日 時 1月22日（水）新年会

会 場 松木屋

三条南RC 日 時 1月27日（月）新年会

会 場 魚作

※いずれも事務局にて記帳の用意があります。

◇第2560地区ガバナーよりバングラディッシュ災害救援募金ご協力のお願い

サイクロン時避難、識学教育用多目的シェルター建設資金として

私ごとになりますが、私が最初にモンゴルに行きましたのが1988年で今から4年前のことですが、その時、30人の団体で旅行しました。その頃は、1年に200人くらいしか日本から行っていませんでしたので、1割の人達が来ましたということで歓迎を受けました。中国とモンゴルの関係が非常に悪かったもんですから、京北から国際列車が週に一回、通っているという程度ですね。モスクワ行きが。ソ連の方から入るにしてもイルクーツクから24時間も列車でかかるというのだからこれも大変です。でも最近では北京とウランバートルの間、イルクーツクとウランバートルの間にも飛行機が飛ぶようになりました。今や3000人ぐらいが日本からモンゴルに行くという大変な広がりを見せております。

私は、1987年に15年ぶりにソ連を見たいと思って見に行ったんですが、前に行った時は、社会主义はインチキもはなはだしいと思っていました。モスクワ市長のボボフという人の話を1時間もきいたんですが、するどく国の主能部を批判するわけです。そして欠点をあらいざらい出してやっていましたからこれはソ連、かわるぞと思いました。ものが言えるようになってくれば、これは本物だと思っていましたので。それでモンゴルも変わるぞと思いながら行ってみようと思って行ってみたわけです。行ってみたら思っていた通り自由に物を言う空気が流れているし、日本人に対する期待感がものすごくあるということで、ぞっこんモンゴルという国にはれたわけです。ほれたのがきっかけで毎年行くようになりました。去年は日本で最初のチャーター便をしきけましたらあつというまに130人集まり、副団長に堀川さんになっていただき行つきました。今年も春、夏、このあいだと、あれこれ7、8回もモンゴルに行っております。行きたびにものすごい勢いでの国が変っているということを痛感するわけです。

モンゴルの生活水準はまだ低い。1ヶ月の賃金は日本円で2000円くらいだと思います。でもいきみがすごい。おさえられていたおもしがとれて自分の力で物をやれるという自信といきおいが。これがすごい。変わったのは88年でいちばん大きな変化は88年の暮れから91年の3月にかけての青年達による民主化運動だと思います。旧勢力は全て退陣するわけです。ひきぎわが非常にいさぎ良い。そして新しい人達がほとんど30代、副首相などは29才という若さ。この運動をリードしたゾリブという男は28才でしかない。1方、ひいた老練な人達の言うことが又、いい。「あれでいい。モンゴルを世界に知らしめたのだから」と。地位にしがみついていない。企業の民営化、市場経済の導入。去年は1年で450～500の会社ができたほど。能力があれば出せる社会に変った。

実は私、縁ありまして、1月17日より三条のパルムセンターでモンゴル物産展をやらせていただくことになりました。でもやるのは大変。品物を入れることが非常に大変。コンテナでもやられるというのですから。向うの親善協会に品物を買いあつめてもらいイルクーツクまで一斉に乗ってきてもらい、その後がまた大変で飛行機が思うように出ないので私どもは先に帰ってきたんですが、2週間後、どうにか荷物がとどきましたので運が良かったと思っています。イルクーツクで保全倉庫に入れるときにはもうだめかと思いました。カシミアの毛布が30万円のものが4分の1の値段です。昨年の暮、新潟でやったんですが、物のよいことは良い。非常に好評でした。

二回目に行った時、17人くらいで行ったんですが、ゴビ砂ばくに行ったんです。砂ばくだと思っていたんですが、実はお花畠なんですね。見わたすかぎり真平らで一日中、シンキローが出るわけです。海やビルディングが出たりします。そしてずーっとすんでいますからモンゴル人は目がいい